



学校だより 3月号

うんのうっ子



令和7年3月5日発行 創立128周年 伊仙町立南縄小学校(86-2036)

学校公式ブログ

卒業・進級に向けて

校長 石原 つぎ子

「1月は行く。2月は逃げる。3月は去る。」と言われるように、あっという間に2月が逃げていきました。学年末になり、卒業式の練習が始まると、一気に学校には、「卒業」の雰囲気漂い始め、6年生が、卒業生と呼ばれるようになりました。

先月14日に今年も「島が聞こえるコンサート」を開催しました。はまだゆかり先生と折田千恵美先生の美しい歌声に今年は、富本哲弘先生のギターとハーモニカも加わり、心を揺さぶられるとても素晴らしい1時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

「島の風は気持ちいいな」と 優しく笑う 日焼けした顔
「島の暮らしは楽じゃないが、おまえの笑顔が じいちゃんの宝さ」
鳥も花も緑の木々も 風も海も人の心も
笑顔向ければ 笑顔でかえる そこにあるのさ 幸せのとき

はまだ先生の代表曲である「麦わら帽子」の歌詞の一部分です。「みんながだれかの宝物であり、大事にしてくれている人たちがいるんだよ。すてきなものが、わたしたちの周りにたくさんあるんだよ。」というメッセージが込められています。感想に「涙がでてきました。」と書いている子供がいましたが、メッセージがしっかり届いたことを感じました。



3月の学校には、子供たちには分からないかもしれませんが、先生たちの間にある共通した空気が流れます。「もうすぐ1年間同じ教室で過ごした子供たちを卒業・進級させるんだ」という嬉しさと少しの寂しさ、ちょっとした出来事の中で改めて気付く子供たちの成長、子供たちの話をする先生方の目がうるっとすることが多くなります。先生たちの思いも伝わっているといいなと思う今日この頃です。

さて、残りわずかとなった今年度をしっかりと締めくくることができるよう、ここで、もう一度気持ちを引き締めて、学習のまとめ、生活面・保健面の振り返りをしていこうと思います。

今年の学習は、今年のうちに自分のものにして、卒業・進級に備えましょう。

ご家庭でも子供たちとじっくり向き合って、今しておかなければいけないことは何かを話し合ってください。

「終わり良ければすべてよし」といきたいものです。

わたしたちも、子供たちを次の学年に引き渡すために、職員一丸となって、子供たちのために何をすればよいのか考え、実践していきます。

最後まで、ご協力をお願いします。



3月・4月(年度初め)の主な行事予定

- 3月14日(金) 劇団四季公演(4・5・6年生参加)
- 21日(金) 卒業式準備(1~3年給食後下校)
- 24日(月) 第77回卒業証書授与式(1~4は休み)
- 25日(火) 修了式・離任式・PTA主催送別会
- 4月4日(金) 入学式準備(新6年生参加)
- 7日(月) 新任式・始業式・入学式



授業参観(学習発表)

2月26日、今年度最後の授業参観は、学習発表を行いました。幼稚園生から6年生まで、どの学年も、これまでに学んできたことを生かし頑張って発表していました。国語、音楽、生活科、総合的な学習の時間などでの学習を、クイズ、朗読劇、合唱・合奏、プレゼンテーション等、様々な方法で、見る人に伝わるように表現しようとしていました。



幼稚園 お遊戯・ハンドベル「ドレミの歌他」



1年生 生活科「できるようになったこと」



2年生 国語科「朗読劇「お手紙」」



3年生 総合「徳之島の宝」



4年生 音楽「合唱・合奏「オーラリー他」」



5年生 総合「徳之島環境調査隊」



6年生 国語「今、わたしは、ぼくぼ」

6年生を送る会・お別れ遠足

2月28日は、6年生を送る会とお別れ遠足でした。一年間学校のリーダーとして頑張ってくれた18名の6年生に、お礼の気持ちを伝える会は、5年生の企画で、とても楽しい会になりました。また、お別れ遠足では、友達や先生と、校庭や体育館等で思い切り楽しむ姿が見られました。午後は、南縄浜まで歩いて行って、浜遊びを楽しみました。今年度最後に、みんなで素敵な思い出作りができたと思います。

